

JA丹波ひかみ自己改革の取り組みに関する報告

1. 自己改革の考え方について

農業とJAを取り巻く環境は、国内外の様々な要因の影響を受けております。特に、昨年成立したTPP承認案と関連法案については、トランプ米国大統領により「永久に離脱」発表を受け発効の可能性は極めて低くなったものの、TPPで約束した自由化条件を超えるような内容を含んだ米国との2国間貿易協定の締結を迫られ兼ねず、今後も引き続き動向を注視していかなければなりません。

このような厳しい環境のなか、当JAは「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」としての使命を果たしていくため、地域の実態やこれまでの取り組みの課題をしっかりとふまえた自己改革に取り組んでいくことが重要であると考えています。

2. JA丹波ひかみにおける自己改革の取り組みについて

当JAでは、自己改革の取り組みを「地域農業の持続的発展をめざして、事業運営態勢を改革し高水準な協同活動を展開します。」をテーマとした第9次JA運動3カ年計画に反映しています。

JA丹波ひかみ 第9次JA運動3カ年計画（平成28年～30年度）の基本方針

【基本方針】

- ①農業の振興を核とした地域社会づくりにつとめます。
- ②皆さまのニーズにこたえる高水準な事業展開を図ります。
- ③時代の変化に対応できる積極的な経営改革に取り組みます。

【基本目標】

「地域農業の持続的発展をめざして」

—事業運営態勢を改革し、高水準な協同活動を展開します—

なかでも、最重点課題である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の達成に向けた取り組みについては、『JA丹波ひかみ自己改革プログラム』として、役職員が一丸となって取り組んでいます。

3. 今後の取り組みについて

『JA丹波ひかみ自己改革プログラム』に掲げる取り組みについては、中期経営計画および単年度事業計画の中で重点的に進捗管理を行い、着実に実践していきます。

今後、組合員の皆さまとともに話し合いながら自己改革を実践してまいりたいと思いますので、今後とも、ご理解とご協力をお願いします。

『JA丹波ひかみ 自己改革プログラム』

【目標】

○農家支援による農業所得の向上と農業生産の拡大、持続可能な農業の実現をめざします。

平成30年度目標

	夢たんば	大納言小豆	黒大豆	丹波栗	山の芋
栽培者数	320人	1,200人	500人	500人	80人
栽培面積	275ha	340ha	48ha	25ha	8ha
集荷数量	1,250 t	400 t	48 t	40 t	62 t

【重点とする取組み】

○農業生産の拡大に向けた取組み

取組み	具体的な内容・目標	平成28年度の取組み状況と結果
栽培労力の軽減対策	小豆栽培作業支援 〔目標〕 播種・溝堀・防除・脱粒・乾燥・選別の各作業の支援	▶播種・溝堀・防除・脱粒の各作業委託料の一部を支援するとともに、28年度より播種機の購入助成・乾燥用パイプハウス設置助成および色彩選別機導入による利用料支援に取り組みました。 〔28年度実績〕播種機購入78台 色彩選別機利用91.1 t 農業用パイプハウス設置6件
面積拡大支援	生産面積拡大助成の実施 〔目標〕 夢たんば・小豆・黒大豆・栗・山の芋合計で26.2haの増反	▶丹波市産特産物の新規栽培、面積拡大に対して助成を行い、生産拡大を促進しました。 〔28年度実績〕夢たんば53ha・小豆18ha・黒大豆3ha 栗0.6ha・山の芋0.7ha計75.3haの増反
畜産振興対策	優良牛の導入・更新支援および牛舎整備対策の実施	▶能力の高い優良牛の導入または更新に対し奨励措置を行うとともに、増頭目的の牛舎整備に対し経費の一部を助成しました。 〔28年度実績〕奨励対象牛52頭 牛舎整備助成3件

○農業者の所得増大に向けた取組み

取組み	具体的な内容・目標	平成28年度の取組み状況と結果
生産コスト低減への取組み	水稻土壌改良資材の購入費支援 〔目標〕 前年比8.5%供給増	▶水稻の品質向上および生産費低減を目的に、土壌改良資材の購入額に対し10%を還元する助成を行いました。 〔28年度実績〕前年比14.4%供給増
農業経営を応援する取組み	農業資金活用支援	▶農業資金借入に係る利子および保証料の全額助成を実施しました。（利子助成の期間:借入日から3年間、保証料:全期間分） 〔28年度実績〕利用件数104件
有利販売に向けた取組み	特別栽培米「夢たんば」の買取販売の実施	▶食味計測定により、食味値82以上の特別栽培米「夢たんば」を有利価格で買い取り、高付加価値販売に取り組みました。 〔28年度実績〕買取袋数3,327袋
地産地消の取組み	直売所出荷量増大対策の実施 〔目標〕 委託農産物売上額 1億5,000万円	▶出荷量増大対策として、基幹出荷者奨励・端境期出荷奨励・周年栽培定着助成（野菜苗購入助成）を実施しました。 〔28年度実績〕委託農産物売上額1億5,490万円 野菜園芸用パイプハウス設置5件（一部助成）

○事業運営態勢の強化

取組み	具体的な内容・目標	平成28年度の取組み状況と結果
営農指導・特産販売体制の整備	専任営農相談員の体制強化および販売専任担当者の充実 〔目標〕 営農相談員および販売専任担当者の増員	▶専任営農相談員を新たに本店直属として配置しました。 ▶販売専任担当者を増員し、特産物の有利販売および独自商品の研究・開発に取り組みました。 〔28年度実績〕営農相談員3名増員 販売専任担当者1名増員

○その他の重点施策

取組み	具体的な内容・目標	平成28年度の取組み状況と結果
執行体制の強化	改革実践に向けた体制の検討 〔目標〕 平成30年改選に向けた検討・協議	▶改正農協法の要件を確実に満たすとともに、自己改革を実践できる執行体制の構築を進めています。 〔28年度実績〕関連する内規を改正するとともに、平成29年2月に役員候補者推せん会議を開催し法改正等について説明しました。